| 科目区分 | 専門分野 I | | 科目番号 | 0611 | 曜日時間 | 7月 |
|--------------|---|--|--------|-------|------|--------|
| 授業科目 | 基礎看護学実習Ⅱ | | | | | |
| 単位数 | | 2 単位 時間 90 時間 | 開講時期 | 2年次前期 | 授業形態 | 臨地実習 |
| 担当教員 | | | | | | |
| 授業目的 | 様々な健康状態にある患者の療養生活について理解し、その人に応じた日常生活を送るための看護活動の実践を学ぶ。 | | | | | |
| 中核 | その人の回復を促す看護 | | | | | |
| 授業目標 | 1. 患者に関心を寄せ全人的にとらえることができる。 2. 看護上の課題を明確にし、援助計画を立案できる。 3. 援助計画に基づき、指導のもと日常生活援助を実践できる。 4. 実施した援助の追加・修正し、患者に応じた日寿生活援助ができる。 | | | | | |
| | 目 | 授業内容 | 授業方法 | 時間 | 担当 | 備考 |
| 授業の内容と方法 | 12 日間 | ・影響を受けた生活や、日常生活の援助 ・臨地実習における留意点 個人指導(記録・援助指導) 1. 患者の思いや健康状態、日常生活について関心を注ぎ、ヘンダーソンの看護の視点をもとに観察する 2. 受け持ち患者の日常生活に支障をきたしている患者の状況を1.をもとに判断する 3. 看護上の問題を明確にする 4. 看護上の問題を解決するための、援助計画を立案する 5. 援助計画に基づいて、安全・安楽に援助を実施する(看護師と共に実施する) 6. 患者の反応をもとに、計画の追加・修正をする 7. 自己の課題を明確にする | 講演臨地実習 | 90 | | 事前学習をも |
| 事前 課題 | 日常生活に影響する要因、日常生活援助技術 | | | | | |
| 評価計画 方法 | 出席状況、健康管理状況、実習態度などを含め、実習評価表の項目に沿って総合的に評価 | | | | | |
| テキスト 参考図書 | 既習のテキスト、必要な文献 | | | | | |
| 実務歴 有 | | | | | | |
| 講義への 反映 | | | | | | |
| 備考 | | | | | | |